

## 別紙

### カルビー株式会社 広島工場東棟 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

- (1) 事業所の名称     カルビー株式会社 広島工場 東棟
- (2) 事業所の所在地   広島県 廿日市市 木材港北 16-9
- (3) 業種                ビスケット類・干菓子製造業
- (4) 事業所位置図  
別紙（案内図）のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成18(2006)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から平成32(2020)年度までの5年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

##### 1 基本的な考え方

カルビー株式会社は、環境の保全を経営の重要課題として位置付け、グループを挙げてCO2排出量の削減や省資源に取り組んでいます。

当工場は、カルビーグループの一員としてCO2排出量削減に向けて、省エネルギー活動を推進します。

##### 2. 方針

- 生産ロスの削減（製造過程で発生する廃棄品の削減改善）
- 余剰供給エネルギーのカット（製品加熱蒸気量の設定見直し等）
- 廃エネルギーの有効活用（製品乾燥排気熱の再利用等）
- 運転条件の見直し（製品乾燥時の温度引下等）
- 製造設備の省エネルギー改善（製品乾燥機の通風改善等）
- 効率改善機器の導入（LED照明導入、GHP更新、ボイラー更新など）
- 全員参加による省エネルギー活動の推進

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成18年度	直近年度 平成27年度
二酸化炭素	11,900	8,826	8,147

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成18年度	直近年度 平成27年度
二酸化炭素			

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成18年度	直近年度 平成27年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF <sub>6</sub>			

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成18年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	8,826	17.0	1,499	7,327
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計	8,826	17.0	1,499	7,327
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	生産量は平成27年度から横ばいとして、省エネルギー対策で、エネルギー起源CO <sub>2</sub> を減らす（電気は中国電力（株）の実排出係数を使用）			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100      削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量 (t)

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (ton)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成18年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	8,826	20,715	0.4261	25.2	7,327	23,000	0.3186
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	8,826	20,715	0.4261	25.2	7,327	23,000	0.3186
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	4,308	20,715	0.2080	33.0	3,206	23,000	0.1394
目標設定の考え方	生産量は平成27年度から横ばいとして、省エネルギー対策で、エネルギー起源CO <sub>2</sub> を減らす（電気は中国電力（株）の実排出係数を使用）						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100      原単位(c) = (a) / (b)      原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量を13%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHP空調機の更新</li> <li>・乾燥機の省エネ改善</li> <li>・製造加熱蒸気量の削減</li> <li>・ボイラーの更新</li> <li>・排熱回収装置の導入</li> <li>・燃焼装置等の適切な維持管理</li> </ul>
2	電気使用量の削減	電気の使用量を3%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHP空調機の更新</li> <li>・インバータ制御エアコンプレッサの追加導入</li> <li>・乾燥機の省エネ改善</li> <li>・圧縮エアのブロー化</li> <li>・LED等の省エネ照明器具への更新</li> <li>・不要時の設備停止の徹底</li> <li>・設備の適切な維持管理</li> </ul>
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の抑制	メタン及び一酸化二窒素排出の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラー等燃焼機器の適正管理</li> </ul>
4	フロン類排出量の抑制	フロン類排出の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロンガス使用設備の適正管理</li> <li>・設備更新時の低係数ガスの採用</li> </ul>

※原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	該当なし	

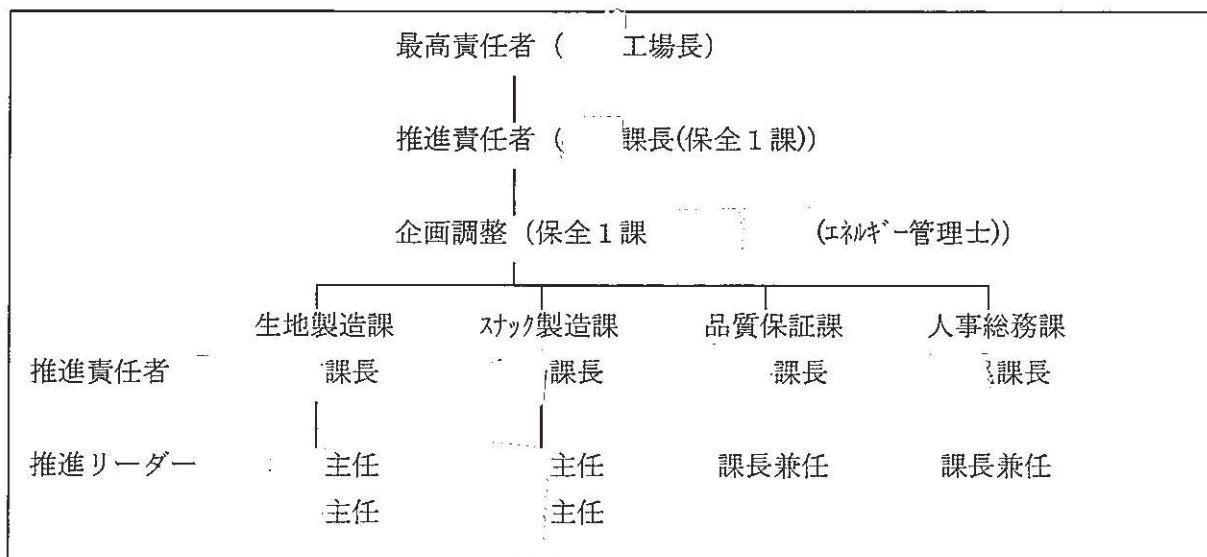
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	製品ロスの削減5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良発生防止改善、等</li> </ul>
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を99%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品の全品回収、等</li> </ul>
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動の推進</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



保全1課を中心として、毎年燃料および電気使用量の削減計画の取組状況の把握・点検および問題点の検討を行い、工場経営会議にて定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

工場の年度成果報告&方針説明会にて全従業員へ計画と実績を公開する。

工場の掲示板へ毎月の進捗状況を掲示する。

社外への公表については、カルビーグループとしての環境活動を、ホームページにて掲載する。